

2023年度日系社会研修研修コース一覧

研修センター	実施形態	複数年度採択有無	区分	No.	分野	研修科目 和文	研修科目 英文	人数 上 下	来日 日	終了 日	提案団体	提案団体 英語表記	提案団体 URL	担当者名	NAME	E-mail	現職・資格・知識	学歴	経歴 年数	年齢	日本語 能力	英語 検定	①目標	②成果	③計画(内容)	備考				
11	横浜	集団	有	継続	C11	その他	持続可能な日系団体運営管理	Sustainable Management for Nikkei organization	6	下	10/1	11/2	公益財団法人海外日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	https://www.jadesas.or.jp/	中井扶美子	NAKAI Fumiko (Ms.)	kenshu@jadesas.or.jp	日系団体(日系組織及び日系団体本部組織を含む)・非営利団体に所属し、帰国後、習得した技術を日系社会や地域社会のために役立てられる者	不問	1	不問	不問	不問	研修員が、持続可能な団体運営の方法に関する知識を習得し、ソーシャルビジネスの手法を用いた日系団体による地域活性化のための新規事業計画を作成する。□	1. 研修員に、非営利団体の運営管理手法に関する知識が習得される。 2. 研修員に、日本人移住の歴史及び日系社会支援の重要性に関する知識、並びに知識普及のための技術が習得される。 3. 研修員に、現代日本事情及び日本伝統文化に関する知識が習得される。 4. 研修員が、日系団体及び地域活性化のための新規事業計画を作成する。□	1. 講義 日系関連事業、日系団体に関する講義/非営利活動、ソーシャルビジネスに関する講義/ビジョン・ミッション論/モチベーション管理/リーダーシップ論 2. 演習 社会的課題発見手法/問題解決手法/新規事業作成手法 3. 見学 ソーシャルビジネス現場視察/在日日系コミュニティ支援/海外移住関連施設 4. 演習 日本文化行楽企画/ファシリテーション手法 □ 【講義】 着物の歴史/思想と装法・種類/帯・小物の役割/着物の地域性。 【演習】 着物の構造/染色体験など 【視察】 染色工場/和装専門店/和装小物美術館/織物・染物会館など 2. 着物の活用・普及に関する知識、技術の習得 【講義】 日本文化の基礎知識/着物と日本文化のコラボ/着物文化をビジネス に育てる/着物関連イベントの企画・運営など 【視察】 西陣織会館きものショー/着物活用ビジネス現場など 3. 着物の管理・保存に関する知識、技術の習得 【講義】 和裁・柄合わせとは/和紙文化と防湿・防虫、収納・虫干、畳み方、			
12	横浜	集団	有	継続	C12	その他	着物を通じた日系社会活性化	Activation of Nikkei community through "Kimono" □	6	下	11/5	12/22	公益財団法人海外日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	https://www.jadesas.or.jp/	中井扶美子	NAKAI Fumiko (Ms.)	kenshu@jadesas.or.jp	このコースで習得したことを日系団体や日系コミュニティの活性化に活かす意欲を持つ方 ・着付け及び縫製の経験のある方 ※限られた実習時間で着衣の縫製を十分に習得する為に、基本的な縫製技術を身につけている必要があります。研修申請書に、手縫い経験(着物以外でも可)について必ず記述してください。	不問	必要資格に記載	不問	不問	不問	研修員が、着物に関する一般的な知識並びに活用・普及および管理・保存に関する知識、技術を習得する。□	1. 研修員に、着物に関する一般的な知識(歴史、役割、素材等)が習得される。 2. 研修員に、着物の活用・普及に関する知識、技術が習得される。 3. 研修員に、着物の管理・保存に関する知識、技術が習得される。□	1. 講義 着物の歴史/思想と装法・種類/帯・小物の役割/着物の地域性。 【演習】 着物の構造/染色体験など 【視察】 染色工場/和装専門店/和装小物美術館/織物・染物会館など 2. 着物の活用・普及に関する知識、技術の習得 【講義】 日本文化の基礎知識/着物と日本文化のコラボ/着物文化をビジネス に育てる/着物関連イベントの企画・運営など 【視察】 西陣織会館きものショー/着物活用ビジネス現場など 3. 着物の管理・保存に関する知識、技術の習得 【講義】 和裁・柄合わせとは/和紙文化と防湿・防虫、収納・虫干、畳み方、	原則、日本語で実施。参加者の日本語レベルに応じて、スペイン語またはポルトガル語の選択を請う予定。□		
13	横浜	集団	有	継続	C13	民間セクター開発	改善と5S	Kaizen and 5S □	10	上	6/18	7/21	一般財団法人日本国際協力センター	Japan International Cooperation Center	https://jicc.org/	西田 喜美子	NISHIDA Kimiko (Ms.)	nikkei@jicc.org	製造業に従事することが望ましい。職務経験は大学卒業後3年以上を有する者。	大学卒業程度	3	不問	日本語または英語で読み、書き、話すことができること	日本語または英語で読み、書き、話すことができること	不問	不問	研修員が、「改善」と「5S」の考え方を理解し、問題の解決・向上に向けた実践的なスキルと活動を展開するためのアプローチを習得し、現状を改善するためのアクション・プランを作成する。□	1.改善及び5Sの考え方や産業界における沿革 2.製造現場における改善のアプローチについて理解する 3.5S活動の進め方について理解する 4.問題解決手法を習得する 5.アクション・プランを作成する□	講義：トヨタ生産方式、5S活動の進め方、問題解決の進め方 演習：生産現場における5S、生産管理、問題解決演習、問題・目標設定、アクション・プラン作成 【講義】 日本文化の基礎知識/着物と日本文化のコラボ/着物文化をビジネス に育てる/着物関連イベントの企画・運営など 【視察】 西陣織会館きものショー/着物活用ビジネス現場など 3. 着物の管理・保存に関する知識、技術の習得 【講義】 和裁・柄合わせとは/和紙文化と防湿・防虫、収納・虫干、畳み方、	
14	横浜	集団	有	継続	C14	民間セクター開発	起業・後継者のための経営力強化	Enhancement of Business Management For entrepreneur and Successor □	10	上	5/7	6/9	一般財団法人日本国際協力センター	Japan International Cooperation Center	https://jicc.org/	西田 喜美子	NISHIDA Kimiko (Ms.)	nikkei@jicc.org	起業した経営者或いは具体的な構想をもって起業しようとする者及び事業後継(予定)者、当該事業分野における実務経験が大学卒業後5年以上を有する者。	大学卒業程度	5	不問	日本語または英語で読み、書き、話すことができること	日本語または英語で読み、書き、話すことができること	不問	不問	研修員が、事業経営に必要な知識やスキルを習得し、責任を自覚するようになる。また、起業あるいは事業の継承・拡大の構想を明確にし、具体的な事業計画を作成する。□	1. 経営者として、事業の継続・拡大に向けた自身の役割と責任を自覚するようになる。 2. 経営管理のノウハウと分析手法を習得する。 3. マーケティング戦略と手法を習得する。 4. 財務の知識とスキルを習得する。 5. 事業計画を策定する□	講義(演習・事例紹介を含む)：中小企業の経営革新の取組み、経営管理のヒント、経営者に求められるリーダーシップ、日本の文化・経営者、マーケティング戦略、問題解決フレームワーク、経営環境分析、損益計算分析 企業訪問：参加者の業種・業態に応じて選定。事業計画書作成：講師(中小企業診断士)による個別相談を含む。発表：ジョブ・レポート、アクション・プラン□	
15	横浜	集団	有	継続	C15	その他	日本文化活動コーディネーター育成(応用)	Management of Japanese Culture Activities (Practical) □	6	下	11/5	12/15	公益財団法人海外日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	https://www.jadesas.or.jp/	中井扶美子	NAKAI Fumiko (Ms.)	kenshu@jadesas.or.jp	日系日本語学校または日系団体のイベント企画運営実務者または日系団体幹部・役員など	不問	3	不問	不問	不問	研修員(日系団体幹部・役員または日系団体のイベント企画運営において責任ある立場を有する者。以下、同じ)に、日本伝統文化に関する知識が深められ、文化指針の実践方法を習得される。 2. 研修員に、様々な日本文化活動事業に関する(資金調達の方法を含む)企画実施方法が習得される。 3. 研修員が、日本文化活動を、ビジネスのための知識および技術を習得する。□	1. 研修員(日系団体幹部・役員または日系団体のイベント企画運営において責任ある立場を有する者。以下、同じ)に、日本伝統文化に関する知識が深められ、文化指針の実践方法を習得される。 2. 研修員に、様々な日本文化活動事業に関する(資金調達の方法を含む)企画実施方法が習得される。 3. 研修員が、日本文化活動を、ビジネスのための知識および技術を習得する。□	1. 講義、日本伝統文化、ポップカルチャー論、各国日系団体事情 2. イベント企画手法、日本文化紹介手法、ソーシャルビジネス論、BPOを活用した事業分析、新規事業計画作成等 2. 実習・体験：問題解決手法、ファシリテーション手法、広報活動手法(ファンレター/パンフレット)、日本文化体験等 3. 見学、キーパソン各施設、田貫湖ふれあい自然塾、清里聖ハナゲ保育園、山梨県立科学館 4. 発表：研修最終日	原則、日本語で実施。スペイン語又はポルトガル語の選択を請う予定。□		
16	横浜	集団	-	新規	C16	自然環境保全	環境教育指導者養成研修	Training for Environmental Education Leaders	12	下	1/8	1/30	公益財団法人キープ協会	Kiyosato Educational Experiment Project, Inc	https://www.keep.or.jp/	鳥屋尾 健	TOYAO Takeshi (Mr.)	t.toyao@keep.or.jp	環境系・教育系いずれかの大学またはそれに準ずる学校の卒業生が望ましい。□	高校卒業程度	不問	不問	不問	不問	研修員が環境教育指導者(インタープリター)として、必要な基礎技術と知識を取得する。□	1. 講義：環境教育概論、インテグレーション概論、展示・教材プログラム設計法、エコーリズム概論 2. 実習・体験：環境教育プログラム(ガイド型・クラフト型・ワークショップ型)、プログラムの相互連携と盛り直し、研修成果のまとめ 3. 見学：キープ協会各施設、田貫湖ふれあい自然塾、清里聖ハナゲ保育園、山梨県立科学館 4. 発表：研修成果のまとめ	本コースはスペイン語の研修整理員(通訳)配置予定			
17	横浜	集団	-	継続	C17	農業開発・農村開発	次世代の農業を担い革新を起す人づくり(スマート農業、フードバリューチェーン、「道の駅」等を活用した地域ブランディング振興策)	Enhancement of innovative human resources in the agriculture sector (new technologies, Food Value Chain and promotion of the community development through "Michi no Eki" and territory branding) □	10	下	10/1	11/6	株式会社 自然塾 寺子屋	Global Agriculture Crossroad TERRAKOYA, Inc. □	https://terrakoya.or.jp/	森 栄梨子	ERIKO Mori (Ms.)	eriko.mori@terrakoya.or.jp	農業や地域振興に関わる人口	高校卒業程度	3	不問	不問	不問	研修員が、自身の農業経営強化や地域農業活性化に向け①スマート農業、②フードバリューチェーン、③「道の駅」等を活用した地域ブランディング振興策について知見を習得する□	・環境教育の概要を理解する。 ・インテグレーション(定義、種類、原則、資質、素材の理解、対象の理解、コミュニケーション、プログラムデザイン等)の基礎知識を理解する。 ・キープ協会の実践を参考に、自国で学校等の現場で環境教育プログラムを行うことができる。□	本プログラムは、さまざまな実践者や現場を訪れ多様な視点を得ることができることが特徴とし、 1. 講義： ・スマート農業 (IoT/ICTを活用した研究と普及；JRCAS) ・スマート農業Ⅱ (IoT/ICTを活用した農業導入事例等及び中南米における可能性) ・認証制度、グローバルGAP、トレーサビリティ等を取り組みによる持続的な農業経営 ・スマート農業、農業のIoT/ICTに関する基礎知識を理解する。 2. 実習・調査： ・多様な農業流通(フードバリューチェーン)による持続的な農業経営 ・次世代農業リーダー、農業女子との意見交換会 ・「道の駅」の多様な活用事例 ・ワークショップ(テラジマゼメント) 3. 見学： ・スマート農業Ⅰ(研究機関：農研機構) ・スマート農業Ⅱ(民間企業：E-kakashi) ・スマート農業Ⅲ(農家：IoT/ICTによるスマート農業を導入した先進農家) ・環境創創型農業 ・多様な流通実践事例 ・農業生産法人(民間産物流通) ・次世代農業リーダーの活躍とアグリビジネス ・農業協同組合(組織強化、市場流通・販売促進、産地形成、共同出荷) ・「道の駅」の多様な活用事例(農産物直売所、観光拠点、体験教室型、公民館機能) 4. 発表：ジョブレポート発表、アクションプラン発表等			
18	横浜	集団	-	新規	C18	その他	キューバ日系社会活性化	Activation of Cuban-Nikkei Society	6	上	5/7	6/2	公益財団法人海外日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	https://www.jadesas.or.jp/	中井扶美子	NAKAI Fumiko (Ms.)	kenshu@jadesas.or.jp	キューバ(国)の日系団体に所属しているか、日系団体の活動や運営に積極的に参加している者 ※近年の日系団体においては日本の文化習慣に関心を持つ非日系人の存在は欠かせないため、日系・非日系を問わない。□	不問	3	不問	不問	不問	研修員に、団体運営に関する知識と運営に関する手法が習得される。 2. 日本人移住、日系社会に関する歴史資料の価値を理解し、資料の収集や保存に関する知識、技術、資料の活用方法を身に付ける。 3. 日本文化に関する基礎的知識及び日本文化普及促進のための技術を身に付ける。□	1. 研修員に、団体運営に関する知識と運営に関する手法が習得される。 2. 日本人移住、日系社会に関する歴史資料の価値を理解し、資料の収集や保存に関する知識、技術、資料の活用方法を身に付ける。 3. 日本文化に関する基礎的知識及び日本文化普及促進のための技術が習得される。□	【講義】 日系団体の役割/各国日系団体活動事例/日本人移住の歴史とニックイ・アイデンティティ 日本文化・年中行事/イベント運営の方法/教室運営 歴史資料の収集の意義/ICT技術を活用した歴史資料の展示/移民誌編集の方法/教育プログラム作成方法 人的リソース活用方法 【演習】 伝統文化体験/歴史資料の収集・保存の方法/イベント運営の方法/ファシリテーション手法/ファンレターデザイン手法/ANMO構想演習/BMC演習 【視察】 移住関連施設・団体視察/日本文化関連施設視察			
19	横浜	集団	-	継続	C19	その他	食を通じた日系団体活性化	Activation of Nikkei organization through Japanese food	6	上	5/7	6/9	公益財団法人海外日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad	https://www.jadesas.or.jp/	中井扶美子	NAKAI Fumiko (Ms.)	kenshu@jadesas.or.jp	日系団体青年部等に所属し、諸活動に積極的に参加している者(婦人部員を対象とした類似コースを別に実施しているため、それ以外の団体、部署に所属している者を優先する) □	不問	1	不問	不問	不問	研修員が、食を通じた地域活性化のための日系団体活動に関する知識を習得する。□	1. 研修員に、日本食を中心とした調理技術が習得される。 2. 研修員に、食を通じた特産品の開発、地域おこし等の地域活性化に関する知識が習得される。 3. 研修員に、所属団体が抱える課題解決手法が習得される。□	1. 講義：日系社会と日系団体活動、日本の非営利活動等 2. 視察：先進農場、地域団体 3. 実習：調理実習等□			

2023年度日系社会研修研修コース一覧

所轄センター	実施形態	複数年度採択有無	区分	No.	分野	研修科目和文	研修科目英文	人数	上下	来日	終了	提案団体	提案団体英語表記	提案団体URL	担当者名	NAME	E-mail	現職・資格・知識	学歴	経歴年数	年齢	日本語能力	英語検定	①目標	②成果	③計画(内容)	備考	
20	横浜	集団	-	継続	C20	教育	日系継承教育(教師育成Ⅲ)□	Nikkei Heritage Education (Teachers Training Ⅲ)□	6	上	6/18	7/26	公益財団法人海外日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad□	https://www.jadesas.or.jp/	中井扶美子	NAKAI Fumiko (Ms.)	kenshu@jadesas.or.jp	・日系移住者子弟の教育を目的として設立された日系学校に勤務する教師(継承教育を実施する教師を育成することを目的とした研修であるため) ・原則、日系継承教育(教師育成Ⅱ)コースを受講した者 ※上記コースの受講経験がない者でも経験年数7年以上または教授時間700時間以上の経験を有する者で、本コースからの受講を希望する者は可(教師育成Ⅱ終了の旨もしくは、中級クラス担当者または担当予定者) ※中級教師のレベルアップを目的とするため、相当程度の実務経験が必要 ・日本語能力試験N2程度以上の能力を有すること(初級レベルの指導法習得を目標とするため、それ以上の日本語能力が必要)□	不問	必要資格に記載	不問	N2	不問	研修員が、継承教育に関する知識(ことば・文化・歴史(移住学習を含む))および指導技術を習得する。□	1. 講義: ①日系継承教育に関する知識の習得 ②継承教育と地域・社会(移住学習(教材開発)、ことばと教育(英語コミュニケーション)など) ③初級および中級レベルの指導に関する知識および技術の習得 ④中級および中級レベルの日本語教授法(中級指導法、教育ICT活用法、アクティブラーニングなど) ⑤学校運営や人材育成に関する基礎的な知識の習得 ⑥日本日本語学連盟の基礎知識、人的資源管理、ファンリテーション手法、評価法など 2. 視察:公立校、都内日本語学校、教育系NPO、日本文化施設など 3. 演習□		
21	横浜	集団	-	継続	C21	教育	日系継承教育(教師育成Ⅰ)□	Nikkei Heritage Education (Teachers Training Ⅰ)□	6	上下	12/3(9/1通信講座開始)	2/8	公益財団法人海外日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad□	https://www.jadesas.or.jp/	中井扶美子	NAKAI Fumiko (Ms.)	kenshu@jadesas.or.jp	・日系移住者子弟の教育を目的として設立された日系学校に勤務する教師(継承教育を実施する教師を育成することを目的とした研修であるため) ・経験1~3年程度または教授時間300時間程度 ※上記コースの受講経験がない者でも経験年数5年以上または教授時間500時間以上の経験を有する者で、本コースからの受講を希望する者は可(中級クラス担当者または担当予定者) ・日本語能力試験N2程度以上の能力を有すること(全講義、日本語で実施されるため)□	不問	必要資格に記載	不問	N3	不問	研修員が、継承教育に関する基礎的な知識(言葉、文化、歴史(移住学習を含む))及び指導技術を習得する。□	1. 研修員に、継承教育を担う教師としての基礎知識が習得される。 2. 研修員に、継承教育・言語(発達)教育の基礎知識が理解され、実践方法が習得される。 3. 研修員に、初級教育におけることばに関する知識及び指導技術が習得される。 4. 研修員に、文化的活動の指導計画作成方法及び指導技術が習得される。□	1. 講義: (1)継承教育を担う教師としての基礎知識(通信:ブラジル日本語センター) ②日本語能力試験N2相当レベルの日本語力の習得 ③日本語文法、教授法等の専門用語の理解 ④報告書資料及びプレゼンテーション資料作成のための基礎的技術 ※日本語能力試験N2以上取得者は2③のみ。 (2)継承教育・言語(発達)教育の基礎知識 ③継承教育と人格形成(日系継承教育の考え方、日本の歴史と移住の歴史) (3)継承教育とことば ことばの教育(継承、日本語授業の研究(一般/年少)、技能別指導法) (4)継承教育と文化 ことばと文化活動(日本語学校と文化活動・日本文化体験・伝統文化と現代文化) 2. 視察:公立校、移住関連施設、日本文化施設など□	・本コースは来日研修前10月より通信教育を実施する予定です。 ・応募締切は6月来日コースの締切日です。
22	横浜	集団	-	継続	C22	教育	日系継承教育(教師育成Ⅱ)□	Nikkei Heritage Education (Teachers Training Ⅱ)□	6	下	12/3	1/25	公益財団法人海外日系人協会	The Association of Nikkei & Japanese Abroad□	https://www.jadesas.or.jp/	中井扶美子	NAKAI Fumiko (Ms.)	kenshu@jadesas.or.jp	・日系移住者子弟の教育を目的として設立された日系学校に勤務する教師(継承教育を実施する教師を育成することを目的とした研修であるため) ・原則、日系継承教育(教師育成Ⅰ)コースを受講した者 ※上記コースの受講経験がない者でも経験年数5年以上または教授時間500時間以上の経験を有する者で、本コースからの受講を希望する者は可(中級クラス担当者または担当予定者) ・日本語能力試験N2程度以上の能力を有すること(初級後半の指導法習得を目標とするため、それ以上の日本語能力が必要)□	不問	必要資格に記載	不問	N2	不問	研修員が、継承教育に関する基礎的な知識(言葉、文化、歴史(移住学習を含む))及び指導技術を習得する。□	1. 研修員に、継承教育・言語(発達)教育の応用理論が理解され、実践方法が習得される。 2. 研修員に、継承教育におけることばに関する知識及び指導技術が習得される。 3. 研修員に、初級コースのコースデザイン方法を習得される。 4. 研修員に、文化的活動の指導計画作成方法及び指導技術が習得される。□	1. 講義: ①継承教育・言語(発達)教育の応用理論 ②継承教育と人格形成(日系継承教育の実践と方法、継承教育と思考の方法、言語発達と日本語教育) ③継承教育とことば ことばの教育(日本語授業の研究(一般/年少)、技能別指導法)と文化 ことばと文化活動(文化活動、日本文化体験、伝統文化と現代文化) 2. 視察:公立校、日本文化施設など 3. 演習□	
23	中国	集団	無	継続	C23	その他	日系社会地域資源の保存技術と活用	Preservation and utilization of Nikkei communities' local resources	8	上	7/23	8/11	学校法人 順正学園 吉備国際大学外国語科	Kibi International University	https://kiui.jp/pc/	坂 伊智朗	TAMBO Ichiro (Mr.)	tanbo@kiui.ac.jp	・PCの基礎的な操作(Word, Excel, PPTなど)ができることが望ましい。 ・日系社会の地域活動などへの主催者としての参加経験(企画、コンテンツ作成、運営スタッフなど)が複数回あることが望ましい。	不問	不問	不問	N3以上	英語でのコミュニケーション	研修員が現地日系社会の伝統資源を認識し、修復、保存、活用に関する必要な知識と技術を習得する。	1. 講義: 1) 地域資源の活用に関する概論、2) 岡山県における地域資源の具体的な活用事例、3) 地域へのインパクト、4) 地域資源の現状、5) 評価技術の理論と応用、6) 修復計画の作成と具体事例、7) 修復技術概論、8) デジタル・アーカイブ技術と応用、9) デジタル・ファブリケーション技術(FabLab)の概論、10) FabLabの活用事例と教訓、11) 地域イベントのプロジェクト・マネジメント手法 12) 形式知の技術と応用 実習: 1) デジタル写真などを活用した文化財の調査手法、2) 文化財の各種非破壊検査手法、3) 修復計画作成シミュレーション□	講師や実習先の都合があり、できれば8/20頃の来日をお願いしたい。(その場合、研修期間は、8/20~9/11となる想定)	
24	四国	集団	有	継続	C24	地域開発	日系ネットワーク強化を通じた地域振興	Regional development through the strengthening of the network among Japanese descendants	6	上	7/23	8/18	高知希望工程基金会	Kochi hope plans foundation	N/A	山中 茂	YAMANAKA Shigeru (Mr)	ghinatu6732@yhb.ne.jp	日系社会でのリーダー的役割を期待できる人材	不問	不問	不問	不問	不問	①新たな日系ネットワークの構築と強化のアイデアと新たな発想力を有するマネジメント力を習得する ②多様な日系社会のアイデンティティを共有する ③日系ネットワーク強化を通じた地域振興アクションプランを立案する。	高知以下を通じた「ダイバーシティ・ネットワークマネジメントプログラム」を研修する。 1. 講義:「高知のよさこい祭り」をツールとして地域振興戦略、「青少年グローバルリーダー育成フォーラム」「よさこい復活した方言商品復活」「ネットワークでつくるコミュニケーション力」「ダイバーシティにおけるリーダーシップ論」「龍馬に学ぶネットワーク形成と活用術」「国際交流を通じた青少年育成プログラム」 2. 視察:高知よさこい情報交流館、高知城、高知城歴史博物館、龍馬の生れた町記念館 3. 実習:よさこい囃子踊り、青少年グローバルリーダー育成フォーラム 4. 発表:日系社会の現状と報告(カントリーレポート)、アクションプラン(研修成果報告) 5. その他:高知県表敬、高知県議会表敬、ホームビジット		
25	四国	集団	無	継続	C25	教育	野球指導者の人材育成	Human resource development of baseball coaches	6	上	5/7	6/7	高知ファイティングドッグス株式会社	Kochi Fighting Dogs, Inc	https://kochi-fd.com	浅利 章太	ASARI Shota (Mr)	asasho52_kfd@gmail.com	日系社会で野球指導を精力的に行うことができる人材	不問	競技経験があることが望ましい	不問	不問	不問	不問	1. プロ野球団の練習や指導方法を通じて、野球指導の手法を習得する。 2. 監督・コーチ・選手の連携や地域での活動を通じ、チーム運営の手法を習得する。 3. 地元少年野球チーム、高知県スポーツフェスティバル大会等に在籍する様々な競技種目と連携し、幼少期から多様なスポーツに触れる機会を創出する手法を習得する。 4. 実習やメンタルトレーニング等を通じて、私生活からケアできる手法を習得する。 5. 大学連携による課題に向けたアクションプランが作成される。	「野球コーチング・チームマネジメント」研修プログラム 【講義】コーチング論、トレーニング論、スポーツマネジメント論、スポーツ栄養学、メンタルトレーニング等 【視察】高知FC栄光戦、地元少年野球チーム、高知県スポーツフェスティバル大会 高知県軟式野球連盟主催U-10アカデミー 【実習】高知FC公式戦、高知県アカデミー、練習参加(ウォーミングアップ、守備練習、打撃練習)【その他】地域の行事、小学校訪問など地域振興イベントへの参加	
26	四国	集団	無	継続	C26	民間セクター開発	小規模食品ビジネスの開発(食の安全・調理と管理・製品開発と販売促進・ビジネスモデル開発のためのバックキャスト)	Development of new small food Business (Food safety: preparation and handling; Product development and Promotion. Back-casting for business model development)	14	下	10/1	10/25	香川大学	Kagawa University	http://www.ag.kagawa-u.ac.jp/globaledu/2na_gs_id=2891	Lutes Peter Gerald	Lutes Peter Gerald	lutes_peter@kagawa-u.ac.jp	資格:食品ビジネス分野の起業家または将来起業を志している者、食品関連分野における基礎的な知識を有することが望ましく、食品ビジネス及び日本の食とフュージョン食品に興味のある者。	-	不問	不問	不問	不問	英語での資料読解、発表、レポート作成可	研修員は以下を習得する。 A)食品ビジネスのビジネスモデルを作成できる B)食の安全および関連する問題を理解することにより、以下を習得する。 (抗酸化作用を有する、ポリフェノールを含む、など)を有効活用した新規食品開発の方法がわかる C)ケールジャパンが推進する日本の文化・食品・ブランド力をどう活かして、顧客をグローバルな食品ビジネスに惹きつけるかがわかる E)自己の参加、プログラムの利益と得たものについての自己分析ができる	1. 講義:成功する食品ビジネス、日本食の伝統、ビジネスプレゼンテーションの習得、ビジネス計画のためのバックキャスト、マーケティングとソーシャルメディアの活用、食品の健康的特性、日本食のフレイバー、食計と小規模ビジネス 2. 実習:飲食店オーナーとの対談・研修(特徴あるレストランの経営)、現地の食材での健康的なアイスクリームを作る。うどん作り 3. 発表:研修成果発表(香川大学内またはJICA内)、討論会	
27	四国	集団	無	継続	C27	地域開発・民間セクター開発	Satoumiの推進(持続可能な開発のための海洋・海洋資源の保全と地域振興)	Promotion of SATOUMI (Preservation of Marine resources and rural development through sustainable management)	6	上	7/23	8/11	香川大学	Kagawa University	https://www.kagawa-u.ac.jp/	尾上 能久	ONOE Yoshihisa (Mr)	Onoe_Yoshihisa@kagawa-u.ac.jp	日系社会において地域振興、環境保護、自然保護等の経験があることが望ましい。	不問	実務経験1年以上	不問	不問	不問	不問	香川の里山における生物多様性の保全と持続可能な利用の実践事例からSATOUMIの概念を理解し、様々な関係者が協働して取り組む事例を学ぶことにより、自然環境の保全と住民の生活向上との両立という視点から自国における地域振興を導くための業務に活用される。 ・ 香川県について理解する。 ・ SATOUMIに関する施策について理解する。 ・ 里山における生物多様性保全と地域振興のための多様な主体の参画による協働管理システムについて理解する。 ・ 里山における生物多様性保全と地域振興の目的の達成と持続可能な開発について理解する。 ・ 海洋資源を利用した起業家との意見交換、海洋資源を利用した振興策視察。	1. 日本事情を習得する。(日本人学生との交流を実施) 2. SATOUMIの概念、歴史及び国家戦略や香川県における推進の取り組み等の講義。 3. 香川県における地域振興の課題と実際の取り組み状況についての視察および事例研究。 4. 海洋資源を利用した起業家との意見交換。 5. 海洋資源を利用した振興策視察。	

2023年度日系社会研修修習コース一覧

所轄セクター	実施形態	複数年度採択有無	区分	No.	分野	研修科目和文	研修科目英文	人数	上下	来日	終了	提案団体	提案団体英語表記	提案団体URL	担当者名	NAME	E-mail	現職・資格・知識	学歴	経験年数	年齢	日本語能力	英語検定	①目標	②成果	③計画(内容)	備考	
28	西国	集団	無	新規	C28	農業・農村開発/地域開発	地域の食材を活かした農産物加工による商品開発	Product development by agricultural processing utilizing local agricultural products	10	下	1/8	1/29	特定非営利活動法人グローバル西国	NPO GLOBAL SHIKOKU		河内 正則	KAWAUCHI Masanori (Mr.)	kawa-family@mx8.tiki.ne.jp	農産物加工に携わる企業・組織の経営幹部、農産物経営者、農産物生産者、農協関係者	不問	実務経験1年以上	不問	N4	不問	1. 地域食材を活かした小規模な農産物加工の手法を理解する。 2. 地域食材を活かした農産物加工品のマーケティング・商品開発の手法を理解する。 3. 農産物加工のための生産者と加工業者の連携方法を理解する。 4. 習得した知見、手法を活用した農産物加工による商品開発のための実践計画を作成する。	1. 講義・討議: 「香川県における農産物加工の現状」「農産物の加工方法と保存方法」「生産者・加工業者の連携」等 2. 視察・懇話: 独自の取り組みを実践している中小事業者4社を研究(ケース・スタディ) (視点) ・食品加工手法 ・マーケティング ・新商品開発 ・生産と加工の連携 3. 日本文化理解: 「さぬきうどんづくり」体験、日本庭園「栗林公園」散策 4. 演習: 「実践計画」作成 5. 発表: 「実践計画」発表		
29	西国	集団	無	新規(2019実施)	C29	民間セクター開発	日本の経営管理における人材育成	Human resource development in Japanese business management	10	上	7/23	8/15	特定非営利活動法人グローバル西国	NPO GLOBAL SHIKOKU		河内 正則	KAWAUCHI Masanori (Mr.)	kawa-family@mx9.tiki.ne.jp	企業経営者・経営幹部、起業して間もない経営者、これから起業を考えている方	不問	実務経験1年以上	不問	N4	不問	1. 研修員が「従業員を育成し、大切にしている経営」を実践している会社の強みを理解することで自国企業との差異を認識し、改めて「自社の強み」を明確にすることができる。 2. 研修員が実践企業の実態を徹底研究することで、「経営理念の浸透方法」や「従業員とのコミュニケーションの取り方」「人材育成を中心とした社内の仕組みづくり」など具体的に即実践可能な経営ノウハウを習得し、実践計画を作成する。	1. 講義・討議: 「従業員を大切にしている経営とは」「経営理念の浸透方法」「人材育成を中心とした社内の仕組みづくり」 2. 視察・懇話: 「従業員を育成し、大切にしている企業4社を徹底研究(ケース・スタディ)」 (視点) ・お客様から感謝される経営 ・SSをベースとした生産・品質管理技法 ・従業員が働きやすい職場づくり ・従業員とのコミュニケーションの取り方 等 3. 日本文化理解: 「さぬきうどんづくり」体験、日本庭園「栗林公園」散策 4. 演習: 「実践計画」作成 5. 発表: 「実践計画」発表		
30	九州	集団	無	継続	C30	民間セクター開発	「和食」ビジネス振興	“Japanese Food” Business Promotion	8	下	11/5	12/1	公益財団法人 北九州国際技術協力協会	Kitakyushu International Techno-cooperative Association	http://www.kita.or.jp/	山根 慎	YAMANE Masato (Mr.)	yamane@kita.or.jp	日本食品関連の日系企業経営者、日本食品関連の日系コンサルタント	大卒程度	3年	特に指定なし	N3	通訳配置可能性有 教材: 日本語	1. 和食文化、背景を理解し、和食についての広い知識を習得する。 2. ビジネス振興のための実践能力を習得する。 3. 「和食」ビジネス起業・振興のためのアクションプランが作成できる。	1. 日本食品の体験・視察(食材・調味料→味噌・醤油等、日本料理→和食・和菓子、和食調理等) 2. 日本食品関連経営・事業能力向上に関する講義(農業の6次産業化、日本型経営、顧客満足経営、人材育成、経営・マーケティング戦略、産学官連携) 3. 他 日本食品関連の調査・視察(北九州市場調査、食器、食品廃材利用等)		
31	九州	集団	無	継続	C31	民間セクター開発	日本のモノづくり技術	“Monozukuri” Technology at Japanese Manufacturing Site	8	下	1/8	2/1	公益財団法人 北九州国際技術協力協会	Kitakyushu International Techno-cooperative Association	http://www.kita.or.jp/	鳥飼 久敏	TORIKAI Hisatoshi (Mr.)	torikai@kita.or.jp	(日系)製造企業、業界団体所属している製造管理・監督者、普及指導者	大卒、専門学校卒	3年	特に指定なし	N3	通訳配置可能性有 教材: 日本語・英語・ポルトガル語	1. 日本のモノづくりの要件を理解する。 2. 日本人的品質管理、生産性管理技術や方法を習得する。 3. 日本人的生産保全、設備保全技術や方法を習得する。 4. 上記を統合し、Q.C.D (Quality, Cost, Delivery) 向上のための戦略的計画能力が身につく。	1. 講義: 日本的モノづくり(文化、思想、考え方) 2. 実習: 日本人的品質管理・生産性管理(不良品をださない環境、現場の活性化、ロス削減など)、生産保全・設備保全(保全管理技術・技能、設備診断技術、設備改善による予防保全など) 3. 見学・事例研究: SS、KAIZEN実践工場、先端技術工場 など 4. 問題解決の進め方(アクションプラン作成)およびプレゼンテーションのやり方		
32	九州	集団	無	継続	C32	保健医療	早期胃癌の内視鏡診断と治療	Endoscopic diagnostics and therapeutics of early gastric cancer	6	上	5/7	6/10	国立大学法人九州大学	Kyushu University	http://plaza.umin.ac.jp/med/eng/index.html	森山 智彦	MORIYAMA Tomohiko (Dr.)	hiko.moriyama.153@um.kyushu-u.ac.jp	医師(内視鏡経験が1年以上で年齢55歳以下) 経験年数: 医学部卒業後3年以上かつ臨床経験3年以上	大卒程度	3年	55歳以下	不問	技術研修は英語で実施	世界トップレベルの日本の内視鏡診療の現状を把握し、最新機器を用いた早期胃癌の発見法と治療法を学ぶ	・日本の内視鏡診療で用いる機器や知識を習熟できる ・次世代型トレーニングモデルや逐次切除を用いた治療内視鏡のシミュレーション学習により、治療内視鏡の技術とコツを学ぶ ・帰国後の自国における具体的な活動計画 ・インターネットを用いて日本と自国の遠隔医師教育講座を開催し、継続的な医療教育を行うことで自国における早期胃癌の診療レベル向上に寄与する	1. 講義: 最新の内視鏡診断や内視鏡治療に関する論文の討論会への参加 2. 見学: 九州大学病院および関連施設における内視鏡検査の見学 3. 実習: 粘膜モデルやブタから切除した臓器を用いた内視鏡治療の実習 4. 学術参加: 日本消化器内視鏡学会や日本消化器内視鏡学会を中心とした学術、研究会への参加 5. 発表: 病院内で研修内容を発表	
33	沖縄	集団	有	継続	C33	その他	沖縄ルーツの再認識を通じて学ぶソフトウェア活用と地域活性化	Effective use of soft power and regional revitalization through cultivation of Okinawan roots	12(15名まで可)	下	10/1	10/31	特定非営利活動法人レキオウィングス	NPO Lequio Wings	https://lequiowings.org/	串間 武志	KUSHIMA Takeshi (Mr.)	info@lequiowings.org	沖縄県庁長官参加者や日本語学校関係者、地域社会のリーダー等、帰国後も積極的に活動する意欲のある方が望ましい。	大卒(相当)	不問	20歳~60歳	不問	通訳配置可能性有	沖縄のアイデンティティが強化され、沖縄のソフトパワーを活かした研修員所属日系地域の活性化が実践される。	1. ルーツとしての沖縄について理解が深まり、沖縄県人としてのアイデンティティが強化される。 2. 地域のリーダーとして地域活性化のための企画力、実践能力が高まる。 3. 沖縄県と研修員所属日系地域のためのネットワークが強化される。	行政: 沖縄県庁長官、沖縄県取組(「世界のウチナーンチュ大会」「世界のウチナーンチュの日」「沖縄21世紀ビジョン」等) 歴史・文化: 沖縄の歴史、伝統文化(エイサー、空手、工芸等) 平和: 沖縄の平和教育、平和記念資料館、平和の礎等 観光: 沖縄の観光資源、地域活性化(沖縄県北部での事例研修、地域活性化事業作成等) 意見交換: 県内の若手リーダー、市町村の青年会、世界うらなーんちゅビジネスアソシエーション(UBA)・世界若者ウチナーンチュ連合会(WUUA)との交流等	他の日系研修との連携あり 本研修と並行して実施される「地域ブランドを活用した6次産業化とスマート農業による日系農業コミュニティ活性化及びネットワーク強化」コースとの帰国後の相乗効果を企図して、一部会場で講義・実習を行う。
34	沖縄	集団	無	継続	C34	民間セクター開発	沖縄のツーリズム・ストラテジー	Tourism Strategy of Okinawa	10	下	1/8	2/2	特定非営利活動法人おきなわ環境クラブ	Okinawa Environment Club	https://npo-oc.com/	金城 明子	KINJO Akiko (Ms.)	Akiko.Kinio@npo-oc.com	必要資格: 観光業に携わっている。	不問	2	不問	日常生活程度以上の英語ができればおよい	通訳配置可能性有	自らのターゲット顧客のニーズに対応した観光商品づくりや販売について戦略案がまとまる	1. 沖縄の観光の現状が理解される 2. マーケティングやブランディングの基本がわかる 3. 自らが携わる観光の課題を把握し、対応案がまとまる	1. 講義: 沖縄観光の概要、マーケティングの基礎、沖縄観光のマーケティング、沖縄観光のブランディング、様々な事例紹介 2. 実習: マーケティングの基礎、県内市内の観光実地調査、沖縄観光のマーケティング、沖縄観光のブランディング、様々な観光プログラム体験 3. 視察: 首里城、美ら海水族館、南部戦跡など 4. 演習: プロジェクト・サイクル・マネジメント(課題の分析から解決手段の提案)、分析結果の発表と討議 発表: 内部および業界関係者	
35	沖縄	集団	無	継続	C35	農業開発・農村開発	地域ブランドを活用した6次産業化とスマート農業による日系農業コミュニティ活性化及びネットワーク強化	Nikkei Agricultural community and network enhancement through “6th Industrialization” and “Smart farming” based on local branding experience in Okinawa	15名まで	下	10/1	10/31	特定非営利活動法人レキオウィングス	NPO Lequio Wings	https://lequiowings.org/	串間 武志	KUSHIMA Takeshi (Mr.)	info@lequiowings.org	日系社会で農業に関する事業に携わっているもの	不問	不問	20歳~60歳	不問	通訳配置可能性有	地域ブランドを活用した農産物の6次産業化・スマート農業等による研修員所属の日系農業コミュニティの活性化が実践される	1. 地域ブランドを活用し、農産物に付加価値をつけ販売を行う6次産業化のノウハウが習得される 1-1 沖縄県における地域振興とブランディング戦略を学ぶ 1-2 地域資源の地産から6次産業化のノウハウを習得する 2. AIやIoTを活用したスマート農業についての事例を学ぶ 3. 沖縄の企業と中南米の日系農業関係者等の双方の人的ネットワークが強化される 4. 沖縄の企業とのビジネスの可能性等を含む自国の日系農業コミュニティ活性化事業が提案される	沖縄県における地域ブランドを活用した6次産業化及びスマート農業への取り組み「挑戦」を明確にし、その「挑戦」に対応する「戦略」を共有する。この「戦略」を十分に「消化」し、自国での日系農業コミュニティ「アクションプラン」につなげ、更に研修を通じて出会う人々と「ネットワーク」の構築を研修コースの運営方針とする。これを実現するための研修内容は以下のとおり。 (目標) 1. 地域ブランドを活用し、農産物に付加価値をつけ販売を行う6次産業化のノウハウが習得される 1-1 沖縄県における地域振興とブランディング戦略を学ぶ 1-2 地域資源の地産から6次産業化のノウハウを習得する 2. AIやIoTを活用したスマート農業についての事例を学ぶ 3. スマート農業で生産の安定化、効率化、収益向上に取り組む事例を知る 3. 沖縄の企業と中南米の日系農業関係者等の双方の人的ネットワークが強化される 3-1 沖縄の企業が有する優位性やニーズを把握する 3-2 自国企業との人的ネットワーク構築について検討する 4. 沖縄の企業とのビジネスの可能性等を含む自国の日系農業コミュニティ活性化事業が提案される 4-2 自国で実施するアクションプランを策定する	
36	沖縄	集団	有	新規	C36	保健医療	KAIZENを遂げた病院における安全とサービスの質向上	Improving safety and quality of services in hospitals through SS-KAIZEN	6	下	11/5	12/8	株式会社ティーエーネットワーク	TA Networking Corp.	http://www.ta-n.com/index.html	佐藤 結希	Sato Yuka	sato.yuka@ta-n.com	・医師、看護師、薬剤師等の医療従事者・事務管理職(医療施設において管理者経験があるもの)、もしくは、将来管理者として従事する可能性があるもの。 (帰国直後から、所属先で中心となりSS-KAIZENの実施・普及を期待するため)	大卒卒業程度 実務経験3年以上	応募時点で49歳以下	不問	不問	不問	研修員が、研修を通してSS-KAIZENを理解し実践する能力を身に付け、修得した知識を活用することで、病院の安全とサービスの質の向上に貢献する。	1. 講義: SS-KAIZENにおけるマネジメント、SSの概要、院内感染予防からみたSS、院内感染対策、手指衛生、医療器材とSS、SSからKAIZENへ～KAIZENとは、KAIZENスタッフ、KAIZENツール、KAIZEN業務プロセスの見直し、問題分析と目的分析、ハレットチャート、フィッシュボーンチャート、日本の保健医療制度、カイゼン型病院経営、リーダーシップ論、TQMとは、メンターシップ、サポーター/スーパービジョン、モチベーション管理、モチベーショントレーニング、患者安全、医療安全とSS-KAIZEN、危険予知トレーニング(KYT)、プロジェクト・サイクル・マネジメント(PDM)、チームビルディング、PDCAと組織運営、SWOT分析、院内管理体制の確立、モニタリングシステムの構築、チェックリストの活用 2. 実習: ジョブレポート作成(ポスター形式)、手指衛生、プロブレムツリーとオブジェクトツリー、ハレットチャート、フィッシュボーンチャート、SWOT分析、チームビルディング、危険予知トレーニング(KYT)、具体的実践計画の策定 3. 見学: 病院(SS-KAIZEN-TQM)の展開、情報管理システム管理、安全管理等 4. 発表: ジョブレポート(ポスター形式)、所属先におけるSS-KAIZENの展開計画、具体的実践計画		